

L P ガス C P 情報(2013年5月積み)

1. 5月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 735^{ドル} (前月比 -55^{ドル})
 ブタン 775^{ドル} (前月比 -60^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、需要期が明け需給が緩和、原油市況の下げもあり、スポット市況は大幅に軟化した。産ガス国のスポット供給は限定的だったが、需給緩和感が強くCP先物はバックワーデーション(期先安)となっていた。一方、ブタンはナフサが急落(中旬には805^{ドル}まで下げたが原油反騰を受け第4週には850^{ドル}台に戻している)したことから石化向け需要が減退し、第3週以降、プロパン、ブタン格差が縮小した。フレート市況はじり高となり43^{ドル}台で推移した。5月CPは当初の市場予測より高めの感があるが、最終週の原油、ナフサ市況の急反騰が影響した模様だ。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン2.6ポイント、ブタン3ポイント下落。前年同月比ではプロパン5、ブタン1ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	40	41	41	43	41
CP先物指標:P	745	735	740	700	730
CP先物指標:B	805	795	775	730	776

② 原油市況等

原油市況をみると、4月のWTIは97^{ドル}、ドバイ107^{ドル}台でスタートしたが、中国の経済成長鈍化、EU圏の景気先行き懸念、米国の原油生産、在庫の高水準もあり急落、中旬にはWTIが86^{ドル}台まで下落、ブレントは100^{ドル}を割り込み、WTIとの格差が10^{ドル}を切った。一方、株高が続き、対ユーロドル高が進んだが、リスク許容度が高まり投機資金が流入、WTIの建玉(総取組高)は12日に178万枚の過去最高を更新した。なお、大口投機玉ネット買い越しは21万枚まで減少。第4週は米国経済指標の好転と売られすぎ感から急反騰した。米国原油生産量はシェールオイルの増産が続き730万bl/dと1992年以来の高水準、在庫は過去最高水準。

○4月積みアラビアンライト(4月1~29日まで)は103.01^{ドル}(前月比-4.5^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン844.60^{ドル/トン} ブタン833.02^{ドル/トン}
 AL比 プロパン87.02% ブタン93.03%

2. 2013年5~6月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	99.63	73,228	77,213	-3,400	-3,800
26~25日②	98.06	74,800	78,900	-5,700	-3,700
1~31日③	98.73	76,200	80,500	-6,200	-3,300
1~31日④	98.73	75,300	79,500	-5,400	-3,400

*TTS平均は①が4月16日~4月30日まで、②は3月26日~4月25日
 ③、④は4月1~30日、①は6月仕切への影響、②~④は5月仕切適用。

③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。